

大阪府和泉市

## 次世代環境浄化システムを提案し 地球環境への貢献とSDGsへの貢献

①工場排水全量を再生循環する循環型水リサイクルシステム、②上下水道料金をほぼ100%削減、③排水処理時に発生するスラッジなどの汚泥発生をゼロとすることなどを特徴とする、活性炭を用いた排水浄化処理設備の設計、製造、販売。複数の表彰実績があるほか、JICA、NEDO、JOGMEC、JSTなどの官民連携プロジェクトに採択された実績がある。国内大手企業にも装置の納入実績がある。

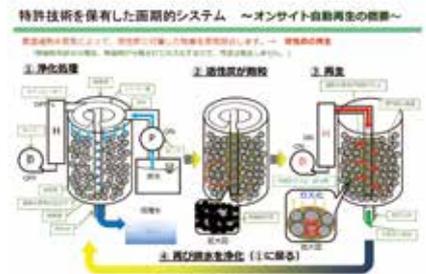
●所在地	大阪府和泉市箕形町4丁目5番44号	●設立	2009年
●電話/FAX	0725-51-3860/0725-51-3861	●資本金	8,000万円
●URL	http://www.jtops.com	●従業員数	14人
●代表者	代表取締役社長 仲喜 治一		



需要獲得

### 維持費の安さを強みに、環境問題への関心が高まるアジアへ進出

活性炭で汚水をろ過する仕組みを使った排水浄化装置。活性炭の再生技術で特許を取得。大型貯水槽で微生物が汚れを分解するタイプに比べて、軽自動車1台程度と省スペースで済む利点がある。活性炭の再利用が可能で、加熱した蒸気を活性炭に噴射することで、たまった汚れを取り除き活性炭を再利用できる。活性炭の取り換えが必要な同業他社製品に比べて維持費は100分の1。その維持費の安さを強みに、中国、台湾、インドネシアなど海外で大型受注。現在、バングラデシュでJICAの案件化調査に着手している。UNIDO (国際連合工業開発機関) の提供するSTePPサステナブル技術普及プラットフォーム) に当社の技術が登録され、当社の技術、途上国での活動が評価されている。



特許技術の概要図

### JICAの中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用

2014~2016年にインドネシアでJICAの案件化調査及び普及・実証事業を実施。2018年1月、ジョコ大統領がチタルム川を泳げる川にするという宣言を発表。汚水垂れ流し工場の操業を止めさせ多額の罰金を科す実行行使に出た。ジョコ大統領からJICA経由で日本の環境技術への強い協力要請あり。同年3月に現地JICA技術セミナーでJトップが講演し、参加した大手繊維会社2社から大型機を相次ぎ受注。



インドネシアで稼働している排水浄化装置

### 三浦工業との業務提携で体制強化し、アジア市場開拓を加速

中国、台湾、インドネシアなど海外での大型受注を追い風に、ボイラーの購入先である大手の三浦工業と資本業務提携。同社は開発、三浦工業は生産・販売をそれぞれ担当することとし、グループ内で体制を整備。2020年以降は三浦工業に浄化装置のライセンスを供与する形でアジアでの生産も検討する。



排水浄化装置

ものづくり